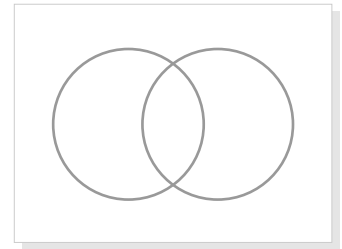


# ベン図

## 目的のために使うスキルと思考ツール

- 問題を見つけるために**比較する**
- 「**ベン図**」を使うと…



## 使い方

2つのことを何か視点を決めてく比べると、違っているところや似ているところが見つかります。そこから「どうしてちがうんだろう？（ちがうのには何に関係するんだろう？）」「どうしてみんなにているんだろう？（どんな決まりがあるんだろう？）」などの問題（ふしぎ）が見つけやすくなります。

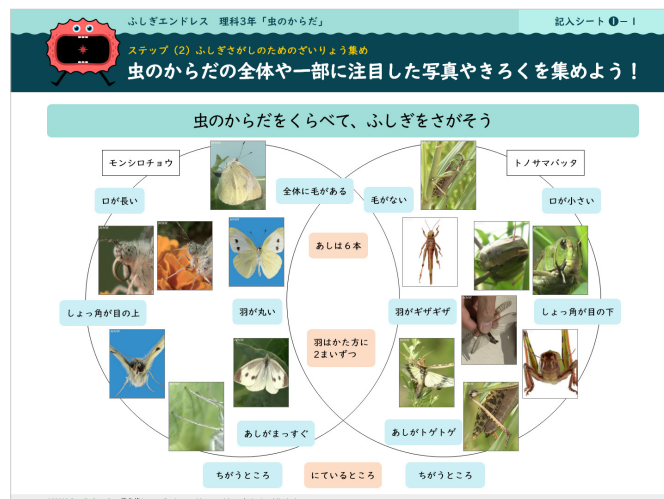
比較してふしぎを見つけるために、ベン図を使うときは、次のようにしましょう。

- ベン図のそれぞれの円の上に比較することの写真や名前のカードなどを貼ります。
- 比べる視点（数、量、温度、重さ、大きさ、固さ、色、形、手ざわり、共通性、多様性、場所、時間、変化など）を複数見つけます。
- それぞれの視点について、似ているところ、違うところ、どう違うのかなどの特徴をカードに1つずつ書いて、似ているところはベン図の円の重なった部分、違うところは円の重なっていない部分に貼っていきます。
- 出来上がったベン図を手がかりに、「どうしてにている？」「どうしてちがう」などに注目すると、ふしぎが見つかりやすくなります。

## 使用例 【虫のからだのふしぎを見つけるとき】

- ベン図の円の片方にモンシロチョウの名前カード、もう片方にトノサマバッタの名前カードを貼ります。
- 比べる視点（足の数、足の形、羽の数、頭胸腹、口の形、触角の付く場所など）を見つめます。
- それぞれの視点について、写真なども使って、似ているところ、違うところ、どう違うのかなどの特徴をカードに1つずつ書いて、似ているところはベン図の円の重なった部分、違うところは円の重なっていない部分に貼っていきます。
- ベン図の重なった部分（似ているところ）に注目することで「どうしてどちらも同じ？」「どんな決まりがある？」、重なっていない部分（違うところ）に注目することで「どうしてちがう？」「ちがいは何と関係する？」などのふしぎが見つかります。

〈注意〉ブランコと花のように、全く違うことを比べると、違っても当然で、似ているところも探しにくく、質の高いふしぎが見つかりません。



※やるキットの記入例